

皆さんに知ってほしい環境システム学科のこと、オリエンテーション合宿のこと

2025 年度 環境システム学科 1 年生履修指導担当教員 カトラミーズ・ターレク (Tarek Katramiz)
環境システム学科教員一同

はじめに

環境システム学科へようこそ

2025 年度新入生の皆さん、**入学おめでとうございます**。そして、環境システム学科にようこそ！新生活に期待や不安などが入り混じった心境かと思います。そこで、ここでは**環境システム学科について**、そして**オリエンテーション合宿について**紹介します。

環境システム学科について

皆さんが学ぶ環境システム学科には 30 年以上の歴史があり、大宮キャンパスにあります。2023 年末には、5 号館の前に緑豊かな芝生広場が新しく完成しました。この広場も含め、進化を続ける大宮キャンパスで、これからの大学生活が始まります。

皆さんは「**Z 世代※1:**」と呼ばれる世代に属し、環境問題への関心が高く、自然と共に生きることや持続可能な社会を大切にする価値観を持っています。さらに、貧困や気候変動といった課題を「他人事」ではなく、自分たちの問題として考え、行動する力があるのが特徴です。SDGs (持続可能な開発目標) は、皆さんのこうした意識や行動力を活かすための世界共通の目標であり、私たち全員が取り組むべき課題を示しています。

環境システム学科では、建築、都市、環境、情報といった幅広い分野を学びながら、SDGs に関連する知識やスキルを身につけることができます。これからの大学生活を通じて、皆さんが**自分の専門性を深め、それを活かして社会に貢献すること**を私たちは心から期待しています。教員一同、全力でサポートしますので、安心して学びに取り組んでください。皆さん一人ひとりの学びが、持続可能な社会をつくる力になります。一緒に新しいことを学び、未来を切り拓いていきましょう！

※1 「McKinsey Explainers Z 世代とは？」

https://www.mckinsey.com/jp/~media/mckinsey/locations/asia/japan/our%20insights/in_what-is-gen-z.pdf

新入生オリエンテーション合宿について

入学式の数日後、新入生オリエンテーション合宿があります。このオリエンテーションは環境システム学科での 4 年間の学びを体感する、とても貴重なスタートの場です。専門知識を身につけるための第一歩とも言えるイベントです。2024 年度には、コロナ禍で中止されていた合宿形式のオリエンテーションが 5 年ぶりに再開されました。2025 年度も合宿形式で実施予定です。

このオリエンテーションを通じて、皆さん同士や先生方との交流が深まり、これからの学びのモチベーションを高められることと思います。

昨年度は「東京の真ん中に泊まる※2」というテーマで、実際の都市環境に触れながら学びを深める内容で行われました。今年度も充実したプログラムを準備しています。

皆さんの新しい挑戦を、教員一同楽しみにしています！

※2: 昨年2024年度の例。「東京の真ん中に泊まる。環境システム学科新入生オリエンテーション合宿、5年ぶり開催！」 [https://www.paes.shibaura-](https://www.paes.shibaura-it.ac.jp/news/2024/1622/%E3%80%81?doing_wp_cron=1736913407.9152410030364990234375)

[it.ac.jp/news/2024/1622/%E3%80%81?doing_wp_cron=1736913407.9152410030364990234375](https://www.paes.shibaura-it.ac.jp/news/2024/1622/%E3%80%81?doing_wp_cron=1736913407.9152410030364990234375)

Why: なぜオリエンテーション合宿を実施するのか？

大学生活という新しい環境に期待や不安を感じている皆さんにとって、**同級生や先輩、教員と時間を共有し、議論することが大切だと考えます。**この一体感こそが、合宿を行う意義です。

合宿という非日常的な環境で築かれる同級生や先輩、教員との絆は、これから始まる4年間の大学生活のしっかりとした土台となるでしょう。参加費用は1万円以内となる予定です。皆さんの大学生活がより充実したものになるよう、教員一同準備を進めていますので、楽しみにしてください！

What: 合宿で何をするのか？

この合宿では、「サステナビリティ課題解決ワークショップ」を行い、本学科の学びを体験的に理解します。ワークショップでは現代のサステナビリティ課題に対して、建築、都市、環境、情報の視点から解決策を提案し、**多角的な視点で考えることを学びます。**また、**異なる意見を持つ人と話し合うこと**で新たな視点を得るとともに、**相手にわかりやすく伝えるスキルを磨きます。**これにより、本学科が重視する「多角的な視点」と「協働」を体験的に学びます。さらに、この合宿は同級生、先輩、教員と交流を深める絶好の機会でもあります。事前をお願いする自己紹介アンケートが、交流を円滑にするために役立ちます。合宿を通じて得られる学びとつながりが、皆さんの大学生活の力強いスタートとなることを願っています。

Where: 合宿の舞台は池袋駅周辺！

合宿における活動の主な場所は**池袋駅周辺(※3)**です。池袋駅は、1日あたりの乗降者数が世界で3番目に多い、大規模なターミナル駅です。しかし、多くの利用者が駅周辺エリアだけで時間を過ごし、それ以外にはあまり人の活動が広がらないという課題があります。そこで池袋駅周辺では地域活性化を目指し、公園を中心とした都市整備や電気バス「IKEBUS」の運行など、さまざまな取り組みが行われています。しかし持続可能なまちづくりの観点から見ると、まだ多くの課題が残されています。例えば緑地や公共空間の効果的な活用、多様性を包摂するデザイン、気候変動への対応、エネルギー効率の向上などが挙げられます。

※3: 宿泊は代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターを予定

How: 2日間にわたる合宿で学びを深めます

この合宿では、街歩きやサステナビリティ課題を解決するグループワークを行います。最後にはグループごとに発表をしてもらいます。それぞれのグループには、先輩や教員も参加し、共に学びながら課題に取り組んでいきます。

ワークショップでは池袋駅西口周辺を実際に歩いて、地域の課題を発見します。その後建築、都市計画、環境、情報の視点から、どのように解決策を提案できるかを考えます。この実地体験を通じて学びを深めるとともに、地域への貢献という視点を養います。合宿を通じて得られる経験は、今後の大学生活をより充実させるための大きなステップになります。皆さんの積極的な参加を期待しています！

When: 入学直後の合宿には特別な意味があります

合宿は、皆さんの入学直後である **4月7日(月)** と **8日(火)** の一泊二日で実施します。「まだ仲良くなっていないのに合宿？」と思うかもしれませんが、実は **仲良くなるために** 入学直後に合宿を行うのです。同級生や先輩、教員と過ごすこの2日間は、これからの大学生活をスムーズにスタートさせる大切な機会となります。

Who: 先輩と教員と一緒に学びます

このオリエンテーション合宿は、教員と皆さんの先輩である大学院生が計画し、準備を進めています。ただし、この合宿を本当に価値あるものとするには、皆さんひとりひとりの積極的な参加が不可欠です。先輩や教員とともに学び、話し合い、協力する中で、これからの4年間に役立つつながりや学びを得られるはずです。この特別な時間を楽しみながら、新しい一歩を踏み出してください！

おわりに：大学での学び、環境システム学科での学びとは？

これから始まる大学生活、特に環境システム学科での学びは、高校までの学びとは大きく異なります。高校では「正解」を埋めることが主でしたが、大学では自分で「問い」を見つけ、その答えを考えることが求められます。環境システム学科では、「**建築や都市を「システム」として捉え、社会の課題を深く探り、解決策を考える力**」を養います。このプロセスを通じて、皆さんは自分の「問い」に対して「答え」を提案できる力を身につけます。大学卒業後、社会に出る際に、この学びが大きな力となります。オリエンテーション合宿を通じて、これからの学びに向けた第一歩を踏み出しましょう。

皆さんにお会いすることを楽しみにしています！